

身近な方から陽性になったと連絡があったときの対応

感染の状況や新たな変異株などによって、対応方法や自宅での待機期間などが変わる可能性があります。最新情報は、ホームページなどで随時お知らせします。

札幌市 濃厚接触者 検索

市に寄せられるよくある質問とそれに対する回答を随時更新しています。

札幌市 コロナ よくある質問 検索



自分が次の両方に当てはまるか確認

- 陽性者の発症日(無症状の場合は検査日)の2日前以降に会った
- 陽性者がマスクをせず、手が触れる距離で15分以上会話をした

両方当てはまる

一つ当てはまるか、
両方当てはまらない

感染の可能性は低いですが、発熱などの症状がある場合は、下記のAに従って対応してください。

感染の可能性があります

自分の症状の有無によって、AかBに従って対応してください

A 発熱などの症状あり

ウェブ WEB7119で適切な対応を確認

ホームページでいくつかの質問に答えると、適切な対応や相談先が表示されます。

ウェブ7119 検索

ホームページが見られない場合は

- ・かかりつけ医に相談
受診前に必ず電話し、陽性者と接触があった場合は、その旨も伝えてください。
- ・救急安心センターさっぽろ☎#7119※(毎日24時間)に相談
※ダイヤル回線・一部IP電話からは☎272-7119。
☎0570-085-789(毎日9時～21時)でも相談可。救急安心センターさっぽろは、8時～10時は特に電話が混み合います

陽性者と最後に会った日から

- ・7日間は自宅待機
- ・10日間は自分で健康観察(1日2回の検温)、リスクの高い場所への外出や会食などを避ける
※医療従事者などへの一部例外あり
※健康観察中に発熱などの症状が出たらAに従って対応

症状がない場合などの一般的な相談は

札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口
☎0570-085-789(毎日9時～21時)
※9時～10時は特に電話が混み合います
▶ファクス633-0746、Eメールkansen_sogoannai@city.sapporo.jp

全日本ろうあ連盟 相談窓口 検索

※身近な方から陽性の連絡がなくても、発熱などの症状がある場合はAに従って対応してください

引き続き感染対策の徹底を

家庭内、外出時ともに、引き続き基本的な感染対策を徹底しましょう。同居している方が陽性や濃厚接触者になった場合の対応なども、ホームページで公開しています。

札幌市 感染対策に関する情報 検索

- マスクの正しい着用
- 小まめな手洗い・手指消毒
- 一つの密でも避ける
- 換気 など

新型コロナウイルス感染症関連情報

※掲載情報は2/15現在。最新の感染状況に注意し、北海道・札幌市からの協力要請に応じた対策に取り組んでください
※各問い合わせ先の▶は、聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方向へのファクス番号などです

3回目ワクチン接種のお知らせ

詳細は、順次送付する接種券に同封のお知らせでご確認ください。
接種できる方2回目の接種から6カ月経過した18歳以上の方。接種は任意予約接種券が届いた後、接種日が2回目の接種から6カ月以降か確認の上、接種実施医療機関か集団接種会場を予約
問い合わせ札幌市新型コロナウイルスワクチン接種お問い合わせセンター
☎351-8646(毎日9時～18時)

▶市コールセンターのファクス221-4894
※市コールセンターからではなく、担当部署から折り返し連絡します

市のワクチン接種の最新情報を伝えるポータルサイト「ワクチンNAVI」

接種可能な医療機関や集団接種会場のほか、接種場所での接種の空き状況も更新しています。



札幌市 ワクチンナビ 検索

厚生労働省「新型コロナウイルスワクチンQ&A」より

※2/15時点のQ&Aを基に作成。海外でのワクチンの接種間隔やモデルナ社製ワクチンの接種量などは日本と異なる場合あり

オミクロン株への発症予防効果

イギリスの報告では、ファイザー社製とモデルナ社製の発症予防効果について、2回目接種から2週間後は10%程度に低下するが、3回目接種から2週間～4週間後は60%～75%程度に高まるとされています。ただし、15週以降は25%～40%になるというデータもあります。

3回目接種の副反応

アメリカの臨床試験によると、ファイザー社製、モデルナ社製ともに、2回目の接種後と比べて有害事象の発現傾向は概ね同様とされています。ただし、リンパ節の腫れは、1・2回目接種時と比べて発現割合が高いこと(ファイザー社製:5%程度、モデルナ社製:20%程度)が報告されています。

1・2回目と異なるワクチンの接種(交互接種)

1・2回目にファイザー社製かアストラゼネカ社製を受けた30歳以上の方を対象に、3回目にファイザー社製、モデルナ社製、アストラゼネカ社製を受けた時の抗体価を比較したイギリスの調査では、対照群と比較して、接種から28日後の抗体価が有意に上昇し、副反応は全てのワクチンの組み合わせで同様かつ許容されると報告されています。

3月～4月の市へのワクチン供給量の割合は、ファイザー社製が36%、モデルナ社製が64%の見込みです。感染状況を踏まえ、早く接種できるワクチンの予約もご検討ください。

※モデルナ社製ワクチンは、1・2回目の半量を3回目接種に用います



ワクチンの一般的な質問やよくある質問

厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター
☎0120-761-770(毎日9時～21時)
▶ファクス03-3581-6251、Eメールcorona-2020@mhlw.go.jp

新型コロナウイルスQ&A 検索

ワクチンの副反応に関する相談

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター
☎0120-306-154(毎日9時～17時30分)
▶ファクス799-0338(ホームページにある様式で送信)

北海道 ワクチン接種相談センター 検索

広告

広告